

商品名 クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠250mg「ツルハラ」 医薬品基本情報

薬効	1225 カルバメート系製剤	一般名	クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠
英名	Chlorphenesin carbamate TSURUHARA	剤型	錠
薬価	6.50	規格	250mg 1錠
メーカー	鶴原製薬	毒劇区分	

クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠250mg「ツルハラ」の効能・効果

(脊椎骨粗鬆症、脊椎分離症、椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、腰背痛症、頸肩腕症候群、脊椎迂り症、運動器疾患)の有痛性痙縮

クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠250mg「ツルハラ」の使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、肝障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 腎機能障害、肝障害の既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠250mg「ツルハラ」の副作用等

1. ショック、中毒性表皮壊死症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 白血球減少、血小板減少	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. めまい、ふらつき、ねむけ、腹痛、胃痛、胃部不快感、消化不良、胃もたれ、膨満感、胃重感、胸やけ、食欲不振、嘔気、胃腸障害、過敏症、発疹、皮疹、薬疹	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満

4. 頭痛、頭重感、倦怠感、脱力感、下痢、便秘、口内乾燥、舌炎、悪心、浮腫、腫脹感、そう痒感、口内炎、熱感

記載場所 その他の副作用

頻度 0.1%未満

クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠250mg「ツルハラ」の相互作用

1. 薬剤名等：フェノチアジン系薬剤

発現事象 相互に作用を増強

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

2. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象 相互に作用を増強

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

3. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤

発現事象 相互に作用を増強

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

4. 薬剤名等：アルコール

発現事象 相互に作用を増強

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』